



ふれあい

第39号

やまかみニュース

■発行■ 医療法人 久仁会

homepage <http://www.kyujinkai-mc.or.jp>
E-mail info@kyujinkai-mc.or.jp

鳴門市地域包括支援センター やまかみ

鳴門山上病院

介護老人保健施設 嶋山荘 やまかみ 訪問看護ステーション

TEL687-1234 (代)

TEL687-1005(代)

TEL683-6265(代)

TEL683-6727(代)

〒772-0053 鳴門市鳴門町土佐泊浦字高砂205-29

平成21年7月9日、日本医療機能評価機構より、「通の封書が届きました。内容は簡単明瞭、「認定証を交付します。」とのものでした。本院は、平成11年3月、徳島県で最も早く同機構の認定を受けました。これは療養病院としては日本でも4番目という早さでした。認定の有効期限は5年間のため、平成13年3月に認定更新のための審査を受けて更新され、さらに5年後の本年2月15～17日に再更新のための訪問審査を受けたことは、まだ記憶に新しいところです。4月に「中間的な結果報告」をいただき、最終審査結果を心待ちにしていたところでしたので、大変うれしい知らせでした。

本院の1回目の認定は機構の評価基準のバージョン2.0、2回目は同4.0、今回はバージョン5.0での受審でした。内谷は次第に高度となっており、ます。今回も5年前の受審時にならつて、「Project R21」を立ち上げ、病院をあげて認定を受けるための努力をしてきました。機能評価を受審する意味と意義の一つはこのような努力を全職員が情報を共有します。病院の存在意義や目的の共有、それを実現するために一人ひとりが

鳴門山上病院 いこいの家 嶋山荘 やまかみ 訪問看護ステーション TEL687-1234 (代) TEL687-1005(代) TEL683-6265(代) TEL683-6727(代) 〒772-0053 鳴門市鳴門町土佐泊浦字高砂205-29

平成21年7月9日、日本医療機能評価機構より、「通の封書が届きました。内容は簡単明瞭、「認定証を交付します。」とのものでした。本院は、平成11年3月、徳島県で最も早く同機構の認定を受けました。これは療養病院としては日本でも4番目という早さでした。認定の有効期限は5年間のため、平成13年3月に認定更新のための審査を受けて更新され、さらに5年後の本年2月15～17日に再更新のための訪問審査を受けたことは、まだ記憶に新しいところです。4月に「中間的な結果報告」をいただき、最終審査結果を心待ちにしていたところでしたので、大変うれしい知らせでした。

日本医療機能評価機構による認定更新について

医療法人 久仁会

病院長 國友一史

前回バージョン4での認定結果とは審査項目が多少異なるため、單純な比較は困難ですが、前回（Ver. 4）

では評点2は6項目、評点3は全項目の41%、評点4が59%であったのに対し、今回（Ver. 5）では施設の老朽化に加え評価基準も厳しいものになつている中で、評点2が5項目（実質は3項目）、評点3は全項目の39%、評点4が61%となつたこと現在までに二十数病院を訪問してきたことは、いろいろな病院のいろいろな対応を見るにつけ、職員の間に受審に対する対応の「温度差」がある病院と一致団結の空気が見える病院の差がよくわかるようになつてきました。訪問した病院を「反面教師」とさせていただいたこともあります。気がついたところを少しづつ直してきましたこともあり、今回の受審にあつてはそれほど大きな変更や改善が必要な部分ではなく、「Project R21」活動を通じてむしろ「認定病院であり続ける」という意識を共有し、「それが本院の理念である」「わたしも受けたいケア、わたしも利用したい」といった施設につながることを期待してきました。結果としては予定通りに認定をいただき大変うれしく思います。職員の皆様も「わたしも受けたいケア、わたしも利用したい施設」の具現に向けて共に進むという意識を持ち続けていただきたいと思いま

定期消防訓練が行われました

5月27日午後、消防訓練がありました。年2回の開催が義務づけられており、今年度の第1回目でした。今回も消防本部から東谷さん、宝崎さん（お二人ともヒラ分団員からは雲の上の存在）が来てくださいました。今回の訓練では煙体験ハウス（煙を充満させた通路を避難する疑似体験）を使用しました。煙体験ハウスの組み立てはけっこう手間がかかるため、お手伝いをさせていただこうとしたところ、私を見つけた東谷さんに先に敬礼されてしまいました。序列で下の者が先に敬礼しなければならないのですが、明らかにいけない行為だったので、あわてて敬礼をかえさせていただきました。おまけに一言、「山島さん（これまた雲の上の存在の方）に木村先生おるかどうか見てきてくれって言わされました」と。こんな下っ端のことを気にしていただけるなんてなんとありがたいことでしょう（しかも退屈しているのに）。経理の田口さん、川口君でお手伝いさせていただきました。

今回から実際に火災報知器をならしてから避難訓練を行うことになったのですが、ちょっと手違いがありました（詳細はナシショ）。今回の集合に要した時間は4分46秒でほぼいつもどおりでしたが、当然のことながら実際の火災発生時にはもっと（10倍？）時間がかかると思われます。普段から（家庭でも）避難のじやまになるようなものは置かないようにしましょう。

駐車場に移動して消火器による消火訓練にうつりました。今回火点を用意していなかったため、急速排水マスに石を立てて火点の代用にしました（以前はトクポンさんに本物の火点を用意していただいていましたが、やっぱり本物は危険なので）。もうひとつ迫力にかけますが、実際の操作方法を覚えてもらうためのものでの。

つづいてお待ちかねの煙体験ハウス。個人的には何度も経験しているのですが、みなさんの意見は「何もみえない」「出口が遠く感じる」とのことでした。煙は上にたまるので、姿勢を低くして避難しましょう。

締めくくりはいつもの放水実演です。消火栓のホース、水圧はともに本部のものとは比べものにはならないのですが、それなりに威力はあります。使わずにすむのが何よりです。

何事も普段のそなえが大事です。いざという時にあわてないようにしましょう。次回は起震車の予定です。

「元」本職の木村健二



リハビリテーション

『脳の活性化で認知症予防』

診療協力部 リハビリテーション部門 統括士長 直江 貢

今回は認知症とその予防について考えましょう。

『認知症』とは、脳や身体の疾患が原因で「ごはんを食べたことを覚えていない・・・」、「自分のいる場所がどこなのかわからない・・・」など、物事を認識したり、記憶したり、判断したりする力が障害を受け、社会生活に支障をきたす状態のことです。老化による「物忘れ」とは異なります。

認知症は、早期診断・早期治療が何より大切です。早く治療を始めることで、進行を遅らせることができます。場合によっては症状が改善することもあります。『認知症？』と思ったら、早い時期に医師の診察を受けましょう。

【脳の活性化を図りましょう】

脳を使わないこと（廃用）が認知症の発症や進行を早めます。

それだけに、日頃から脳を活性化させることが大切です。脳を活性化させるためにはいろいろな方法がありますが、大切なポイントは『楽しく行う』ことです。音読や計算などの『学習』、トランプや麻雀などの『ゲーム』が、脳を活性化させるのはいうまでもありませんが、絵を描いたり歌をうたうなどの『趣味活動』、さらには仲間と一緒に昔の遊びや仕事について語る事なども、脳に刺激を与えます。また、一人で行うより家族や仲間と一緒に行うことが大切です。コミュニケーションづくりにも役立つばかりでなく、『楽しい』『うれしい』といった感情が伴えば効果は更に高まります。この他、音楽療法・作業療法・運動療法・社会心理療法等の治療プログラムがあり、これらが総合的に作用して認知症予防に繋がることが期待されます。

加えて、脳を活性化し、認知機能を改善するといわれるEPA（エイコサペンタエン酸）やDHA（ドコサヘキサエン酸）を多く含む魚を食べることもおすすめです。サンマ、サバ、イワシなどの青魚には、とくにEPAやDHAがたくさん含まれています。

当法人では、外来・入院・入所・通所・訪問の提供体制で認知症のリハビリテーションに取り組んでおります。認知症のリハビリテーションに関するお問い合わせは、リハビリテーション部門までお寄せ下さい。



『まーやすだち保育園』です☆



保育目標

- ・笑顔でいさつができる子
- ・やさしさがあり、協調性のある子
- ・健康で明るく伸び伸び行動する子



保育園として

- ・くつろいだ雰囲気の中で子どもの様々な欲求を満たし安定した生活を送ります。
- ・健康・安全など生活に重要な基本的な習慣や態度を養います。
- ・地域の恵まれた自然での体験を通して興味や関心を育て、豊かな心情や思考力の芽生えを培います。

院内行事に参加しています。

- ・お餅つき大会に参加して、おじいちゃん・おばあちゃんとの交流を深めています。
- ・敬老会・クリスマス会などでは、保育士がカラーパックで作った華やかなコスチュームに身を包み、大勢の人の前で堂々とダンスの披露をしています。



渡川 いつみ先生
働くお母さんの楽しい子育ての応援ができればと思ってます。
私たちにできることがあれば、何でも協力させてくださいね。



斎藤 文子先生
『まーやすだち保育園』勤続29年になります。たくさんの可愛い子ども達に出会え、たくさん子ども達からパワーをもらっています。これからも子ども達との出会いを大切に、経験を生かし、日々楽しい生活を子ども達と分かち合っていきたいと思っています。



福井 智代先生
『まーやすだち保育園』での勤務が6年になります。
家庭的な雰囲気の保育環境の中で、子ども達が日々、健康・安全に楽しく生活を送れるよう、精一杯保育に励んでいきたいと思っています。

職員紹介

柏原 智恵先生
『まーやすだち保育園』に勤務して12年になります。
子ども達の笑顔、可愛い仕草にたくさんの元気をもらっています。



これからも子ども達と一緒に遊び、日々成長していく子ども達を見守りたいと思います。



森岡 こず枝先生
制作したりすることが大好きです。これからも子ども達と楽しく過ごせるようパワーをもらいながら頑張ります。





七夕まつり



廣山会とは日本伝統楽器である箏、三味線、尺八などの楽器を使ったグループであり京都を中心に活動をされています。

7月4日(土)今年も京都からるばると山上病院へ中山廣山先生と廣山会の皆様が演奏会に来てくださいました。毎年、患者様や利用者様方も来てくださるので心待ちでいらっしゃいます。まるで七夕の神話に出てくる織り姫と彦星のようですね。当日も心洗われるような音色と楽しい会話で、すてきなひとときを過ごさせていただきました。また、来年もお待ちしております。ありがとうございました。

△院内行事△

①高瀬 晃宏
②ステップ
③介護福祉士
④徳島県鳴門市
⑤まだまだ未熟な僕ですが宜しくお願ひします。

①山下 恵美
②看護師・ケアマネ
③准看護師
④徳島県
⑤日々、誠実かつ謙虚に行動して参りたいと思っています。
どうぞ宜しくお願ひ致します。

①白井 和子
②鳴山荘
③准看護師
④徳島県
⑤身体の続く限り頑張りたいと思いま
す。どうぞ宜しくお願ひ致します！

①細井 美和
②病棟
③看護師
④香川県
⑤笑顔で仕事が出来るよう頑張ります。



新入職員紹介

①斎賀 立旗
②栄養科
③調理師
④徳島県鳴門市
⑤頑張ります！
料理を作るのが好きで、楽しく働いています。

①美間 貴之
②ステップ
③訪問介護員
（ヘルパー）2級
④徳島県
⑤利用者様の為に一生懸命頑張ります。

①横山 育美
②ケアマネジメント課
③社会福祉士
④鹿児島県
⑤病気や障害、様々な困難を抱えている方にソーシャルワーカーとして少しでもお役に立てるよう頑張りたいです。

①高橋 のぞみ
②ケアマネジメント課
③社会福祉士
④徳島県
⑤患者様やご家族様に必要な情報を提供できるように頑張りたいと思います。



- ①氏名
- ②配属部署
- ③資格
- ④出身地
- ⑤自己PR

田淵イチノ様 祝 百歳！

孫娘様より

田淵イチノ様は明治42年4月20日生まれ。結婚して7人の子供をもうけました。孫やひ孫総勢20人以上になります。酒屋で働きながら畑では色々な野菜を作っていました。元気な時は色々趣味がありちぎり絵や手芸、ゲートボールなどをしていました。また、怪我をしてしまい手術をし歩けなくなり山上病院へ入院しました。平成21年4月20日で100歳になりました。

三西病棟職員一同より

徳島県・鳴門市の職員の方々もお祝いにかけつけ御家族の方々も多数おいでてにぎやかな会になりました。「本人様も大変喜んでおられ『有難うな。有難うな。』と言つておられました。いつも笑顔で過ごされている田淵様に三病棟西のスタッフも元気を貢献しています。これからも三病棟西で明るく元気にお過ごしください。



おめでとうございます



朝野フジエ様 祝 百歳！

朝野フジエ様は明治42年7月19日に鳴門市撫養町に5人兄弟の長女としてお生まれになりました。子供の時から優しくかり物で、兄弟思いのお姉さんだったようです。

また、若い頃に看護師・助産師の資格を取得され助産院を開業し畜田・黒崎・桑島地区で数々のお産に立ち会われ地域に貢献、活躍してこられました。その頃のお産は、今と違つて連絡が有ると妊娠さんの家に行き自宅での出産の為、苦労があったようです。

結婚後は5人の子供達にも恵まれ良妻賢母として仕事と御家族を守つて来られました。

元気で働き者であり山上病院の開設当初に看護師として勤務されておられました。入院しているお年寄りの看護を熱心に親身になされていました。現在は、鳴山荘に入所していますが、自分で車椅子を漕ぎ食堂まで行き食事も自分でしっかり食べて楽しく過ごされています。

これからも明るく元気にお過ごしください。

御家族様・鳴山荘職員一同より



おめでとうございます



第17回 日本慢性期医療学会 浜松大会

平成21年6月25日・26日

シンポジスト 開野正嗣 (リハビリテーション主任)

「慢性期におけるリハ・ケアの再考

～短期集中リハアンケート調査結果からの
検討～」

シンポジスト 賀勢泰子 (診療強力部長)

「高齢者の服薬支援

～チーム医療の実践で安心と安全を～」

「認知症ケア」

座長 下岡和美 (看護部病棟師長)

「訪問サービス・通所サービス」

座長 開野正嗣 (リハビリテーション主任)

スキンケア部門

「入浴・清拭後のオリブ油塗布による
スキンケアについて」

演者 新堀恵美 (介護福祉士)

嚥下機能部門

「とろみ調整食品の簡易的粘度基準化の検討」

演者 大村智也 (言語聴覚士)

食事サービス部門

「笑顔がこぼれる介護職

～新たな食形態の導入をめざして～」

演者 吉田友香 (管理栄養士)

チームアプローチ部門

「当院における車いす集中管理システムに
ついて」

演者 廣田香織 (理学療法士)

チームアプローチ部門

「多職種連携のケアカンファレンスによる
チームアプローチ

～看護師の果たす役割～」

演者 木内美紀子 (病棟看護師長)

IT関連部門

「高齢者の安全な薬物療法支援にむけて
～“Beers Criteriaの日本版”と当院の取り組み～」

演者 敷島弥生 (薬剤師)



全国老人デイケア連絡協議会 6/13

『介護報酬改定の通所リハに期待されるもの』

主任看護師 前川英子・主任ソニエ 福田ひろ子

第44回 日本理学療法学会学術大会（東京）5/28～5/30

『アイカメラを用いたパリント症候群におけるランドマーク課題中の視線』

P T 小川 聰

『車いす駆動トルクの相違による身体負荷の生理学的検証』

P T 松下 征司

第43回 日本作業療法学会（福島）6/19～6/21

『タッピングと力の制御に与える加齢の影響』

O T 佐々木 寛和

徳島県 老健大会 6/23

『認知症短期集中リハビリテーションの実施状況』

O T 岡田 敏江

第15回 日本摂食・嚥下リハ学会（愛知）8/28～8/29

『当院における摂食嚥下リハシステム構築への取り組み』

S T 大村 智也



平成 21 年 6 月 25 日に鳴山荘で 5 月 6 月生まれの方々のお誕生会がありました。75 歳・92 歳の方々 6 名がお誕生をむかえられました。今回のお誕生会は職員対抗のシュークリームローションレット、かき氷の早食い競争、サイダーの一気飲み・おにぎりロシアンルーレットを行いました。シュークリームローションレットでは 6 個中 1 個が辛子入りというものでした。大当たりは師長さん!涙ながらにとんでもなく辛い辛子入りシュークリームを完食して頂きました。

次回も思考発散した誕生会を行いたいと思います。楽しみにしていて下さいね。

いこいの家 鳴山荘

老健誕生会

合格 おめでとう!!

☆看護師

小川 和代

☆介護福祉士

高木 奈緒美

宮野 洋治

小松 美鈴



☆社会福祉士

高橋 のぞみ

横山 育美

☆ケアマネジャー

山下 恵美



Happy Wedding

○○の中に美女一名・・・(^_^)お幸せに☆

リハビリ 小川 淳さん
奥様 淳子さん
コメント 常に笑いのある家庭を
築きたいと思います。
挙式日 平成 21 年 6 月 13 日

☆ママより一言

元気にすくすく育つでね。



☆ママより一言

元氣に育ってね!!



三隅 百花 (ももか)ちゃん
平成 21 年 1 月 19 日生まれ
お母さん・三隅陽子さん(ステップ)

か・かわいい～～～(*_*)

天羽 真華 (まなか)ちゃん
平成 20 年 10 月 6 日生まれ
お母さん・天羽奈津美さん(リハ)

『川柳の会』

病床に 病をいやす 美女の舞

加藤 重雄

七草を見つけ娘に示しつつ

陽春の中歩む野の道・

点々と紅をこぼせる如くにて

彼岸花咲く川沿いの道

やり残す事さまざまに持ち乍ら

八十路折坂 我が誕生日

耳少し遠き友とのやりとりに

吾つよき声 ありてさみしも

わづかなる経差どまどう車椅子

孫かけよりて喜びで笑う

此の家にも男見生まれか勇ましく

青空高し鯉幟り建つ

前川 信江

まぐろのとろろあえ

材料

まぐろの刺身（赤身さくどり） 150g

長いも・しょようゆ 各大さじ1

わさび 滅量 防風 少々

作り方

1. まぐろはさくどりを買い求め、ぶつ切りにする。
長いものは大きめに切り、ビニール袋に入れる。
袋の口を押さええてすりこ木でたたき、あらく碎く。

2. 3. ボールに1と2を入れて、さっくりと混ぜる。
器に3を盛り、防風を飾ってわさびを添え、
だしで割つたしょゆを回しかける。



「リハビリクッキング」

編集後記

ついに今年、新型インフルエンザの世界的流行がはじまりました。当初想定されていました高病原性インフルエンザではなく、一時のパンツクに近い状態はおさまっていません。高齢者ではまだ流行はおさまっていませんが、まだ感染を持つことがあります。多くみられるが、今後も感染症もさないとはかぎりません。どんな感染症もまず予防することが大切です。日本感染症学会の提言も、うがい、手洗い、マスクをすすめています。今以上に流行させないよう、流行します。今まで小流行でおさまるよう、みんなで努力しましょう。

木村健二

医療・介護に関するご相談
をお承ります。
お気軽にお申し付け下さい。
医療福祉相談

